



ここから、それから、かまくら。

「いざ」と踏み出したその先に、
予感もしなかった美しさが待っている。
ある時は海辺の光に、ある時は山懐の静寂に。
武家の勇壮も、文豪の孤独も、
点と点が線になり、色と色が混じり合う。
それは、歴史と文化が描き上げた、果てしないモザイク画。
ここから、それから。
一歩進むたび、新しい鎌倉が、ずっと続いていく。

いざ

